



燃えるいのち 第18号



青年部員の皆さん、私を会長として採りあげていただき、ありがとうございます。

そして、日比野会頭、副会頭、会議所会員の皆さん、事務局員の皆さんには青年部活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

青年部活動は何の為にしよう。私は目的が3つあると思います。1、地域経済発展の礎となる。2、青年経済人として研鑽に努め、教養を高める。3、部員相互の交流を図る、です。そしてその目的を達成するために、対外的な事業を増やしました。地域を盛り上げるための青年部オリジナルキャラクター「バランまる」の作成・婚活パーティーの開催・可児川清掃・東京DR研修以上の事業を実施しました。今年の委員長には期待以上に頑張っていたとき、結果も大切ですが各委員会の参加者が多くなったことが一番の成果だったと感じています。

今年のスローガンは、「若い時の苦労は買ってでもせよ」とし、活動してまいりました。普段何気なく過ごしていると1年という歳月はあっという間に過ぎてしまいます。自分を成長させるためには、色々な問題にぶち当たって悩み、新しいチャレンジに向けて努力して苦労しないと自分自身が成長しないと思います。会長を受けるにあたり、このスローガンが思い浮かんだのは、多くの苦労があるだろうけれども、それは自分の成長のために役立つと考えたからでもあります。そして実際に会長を務めてみると、予想していたこと以外にも色々ありました。また市の行政懇談会委員等いくつかの役もやらせていただき、多くの方と出会い、面識が広がったことは自分の財産になりました。スローガン通り、苦労も多くなりましたが、この1年は自分を成長させてくれた貴重な1年になったと思います。

23年度は東日本大震災から始まり、超円高、ユーロ危機と世の中が大きく変革する年でした。今後も厳しい情勢が続くと思いますが、この苦労を乗り越え、我々の住む可児地域、そして我々自身が強くたくましくなることを祈念し、会長としての挨拶と致します。

この一年間、大変お世話になりました。



可児商工会議所
青年部会長
渡辺 博行
(有)日生



可児市長
富田 成輝

「燃えるいのち」 第18号発刊を祝して

「燃えるいのち」第18号が発刊されますことに心からお祝いを申し上げます。

可児商工会議所青年部の皆様には、日頃より本市の商業及び工業の活性化のみならず、市政各般にわたり格別なるご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。

また、日々自らのお仕事を持ちながら、各種活動を展開しておられますその行動力に對しまして、深く敬意を表するものであります。

さて、地方公共団体を取り巻く環境は、長引く景気の低迷や少子高齢社会への移行に伴う財政状況の悪化、グローバル化など大きな変革期を迎えています。

そのような中、私は「誰もが安心、安全に楽しく暮らせるまち可児」の実現を目指し、日々市政運営に努めているところですが、その実現に必要なのが市民の皆様との参画と協働による市民中心のまちづくりであります。若さと情熱と広い視野を持った青年部の皆さんのまちづくりに掛ける熱意は、私ども行政にとりましてとても心強く、大きな期待を寄せるものであります。

皆様、企画から運営まで中心となられる「可児夏まつり」は、我がまち可児そしてふるさとのまち可児の夏の風物詩となっており、部員の皆様のお力を惜しまない奉仕の精神に敬意を表しますとともに、まちづくりの一翼を担う皆様の活動は頼もしい限りであります。

さらに、今後の商工業界を担われる青年実業家として、その持てる活力を存分に発揮され、これからの地域のリーダーとして益々ご活躍されますことを祈念申し上げます。

最後になりましたが、貴青年部の益々のご発展と部員皆様方のご健勝をお祈りし、お祝いのごことばいたします。



可児商工会議所
会頭
日比野 良彦

機関誌発刊に寄せて

この度「燃えるいのち」第18号が発刊されますことに對し、心よりお祝い申し上げます。

青年部の皆様には、日頃より商工会議所の活動並びに、地域振興活動に對し、多大なるご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、我々中小企業を取り巻く経済状況は、折からのデフレ、円の高止まりに加え、東日本大震災による未曾有の経済損失等により、混迷する情勢に行く先の見えない状況です。

震災の影響は大きく、毎年青年部の皆様を中心に進めていた「だいてい」恒例のイルミネーション「冬のほたる」についても、電力事情等を勘案した上で中止という苦渋の決断をしなければなりませんでした。

こうした厳しい経済情勢が続いていることを鑑み、当所は可児市と強い連携体制を敷き、地産地消推進による地域経済の活性化、街づくりや地域資源の発掘等を積極的に進めています。そういった事を強く推し進めて行く為の大切な原動力の一つが青年部の皆様の若く柔軟な発想と、それを実行する行動力、そして団結力です。

平成24年度は、当所青年部が岐阜県商工会議所青年部連合会会長を輩出する事もあり、県内外を問わず、広く可児市を知っていたたくチャンスです。ただし、それには強いリーダーシップと、それを支える信頼関係が不可欠である事も事実です。

成功させるのは決して容易ではないかもしれませんが、部員の皆様日々の活動の中で培っている連携力を如何なく発揮する事が出来れば、必ずこの可児市を変える程の大きな機会を得る事が出来ると確信しています。

青年部の皆様を中心とする波が幾重にも重なり、広がり、この街の発展の力となる事を大いに期待し、また同時に、地域の若き先導者として活躍される事を大変喜ばしく思い、ここに改めて感謝申し上げます。

今後も、青年部の皆様のご健勝と、青年部の益々のご発展を祈念申し上げます。

夏まつり 委員会



夏まつり実行委員長
川合 俊治
(有)イチケンホーム

今回の夏まつりは今までとは置かれている状況が全然違った。まずは開催するか否かを考えることから始まった。しかし、不思議と迷いはなく僕には開催する事しか考えられなかった。どちらかと言えばその時考えていたのは、開催する為の理由付けの言葉を探していたのかもしれない。必ず元気の源になりうる可児のまつりである為に。

実は何年も前から夏まつり実行委員会が始まると、1日開催にするか、2日開催にするかの話が必ず出るが、1日開催はなかなかできなかった。今までの流れを変えることの難しさを痛感したのもだった。

しかし今年度の夏まつりにおいては1日開催が最善の開催方法と信じ、皆で考え、皆で動けたと思う。何にも代えられない1日になったと思う。

青年部活動で何にも代えがたい物は、沢山の時間を一緒に過ごしてきた友人ではないだろうか。夏まつりにおいていえば、日にちが変わる辺りまで続く委員会や、関係各所にお伺いに行く時や、暑い中での準備、夜な夜な続く酒盛りなどあげればキリがない。もちろん前日、当日の夏まつりなど言うまでもない。今年度の夏まつりの片付けが終了したのが日にちが変わってしばらくたってから、午前1時から30人は優に超える人数で打ち上げが始まった。ホントに旨い酒だった。3時から5時まで2次会。そのまま夏まつりの掃除に向かうなんて経験なかなかできない。したくないかもしれないが…。

でもこれが必ず自分の今後の糧になるはずだ。人によって実になるところは違えど、必ず何か得るものがあると思う。是非青年部員として参加してほしいと思う。

1日開催の夏まつりとしては初の試み。完璧な夏まつりだったとは言えないと思う。でも夏まつりは常に進化し続ける。今年出来なかった事は来年に、余分な事はなくしていけばいいだけだ。次の夏まつりはどうなるだろう。来ていただける方々が楽しんでもらえる事は当然として、同時に僕らも楽しみ、成長できる夏まつりで永遠にあつてほしいと思う。

本当にご協力ありがとうございました。

可児夏まつり 実行委員会 2011

実行委員長 川合 俊治

総務委員長 松田 浩一

花火委員長 曾我 伸美

渉外委員長 本田 秀樹

総踊り委員長 田上 哲也

会場委員長 小池 康仁

広報委員長 渡辺 直樹

財務委員長 林 伸彦

監 事 山本 直久



総務委員会



総務委員長
古川 達也
四季の味 鈴川

青年部の皆様、ならびに事務局の皆様にはこの1年間総務委員会にご理解とご協力をいただき有難うございました。またなにごんにも不慣れで、皆様にはいろいろとご迷惑をお掛けしたことを思います。

私は本年度で青年部を卒業する身であります。恥ずかしながら最初で最後の本部役員ということで、右も左もからず初めのころは緊張の連続でした。また人前で話をするというのが一番苦手で、うまく話すことすら出来ませんでした。しかし経験を積み重ねるといことは、とても大切な事と痛感しました。下手なりに少しづつではあります。緊張もとれ、思ったことを伝えられるようになったのではないかなと、少しではあります。自分の中では色々な面で成長できたように思います。本当に良い経験を積ませて頂き、皆様にはとても感謝しています。

さらに本年度は、素晴らしい事業がめじろおでした。私も役員として、また青年部員として携わる事ができ、そして東海ブロックをはじめ対外的にも色々な事業に参加し、多くの方々と知り合いになり、とても有意義で充実した時を過ごさせて頂きました。青年部に入会することで、なにかしら売り上げに繋がるメリットもありますが、このように普段なかなか出来ない事を経験させて頂けるところに、青年部としての意義があると思われたい。

今年の東北での大震災で、多くの方々が無事な環境に遭われたと思います。青年部事業にも少なからずとも影響があり、イルミネーションが中止になるなど残念なこともありました。そして私自身もいろんな事柄に対して真価を問われることが多かったような気がします。人に対して、国に対して、これから自分が何に携わり、何を成し得ていくのか深く考えさせられ、今日本も大いなる転換期を迎えているような気がしています。まさにこの時代だからこそ、青年部で得た貴重な経験や知識を活かし、更なる飛躍を目指して時代の流れに遅れることなく、今後の自分の事業に反映し世の中のお役に立てばと思っています。

最後になりましたが、今後の青年部の更なる繁栄と発展を願いつつお礼のあいさつとさせて頂きます。青年部の皆様、また事務局の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

広報委員会



広報委員長
渡辺 直樹
Total Car Care LATTE

皆さん一年間ありがとうございました。商工会議所青年部に入会していきなり広報委員長を任せられ不安で出発した一年でしたが、皆さんのご協力で何とかやり遂げることが出来ました。

最初の仕事はハンドブック。本年度から自己紹介、事業内容等の追加をしました。

そのため原稿の取りまとめには非常に苦労しましたが、青年部員の事が非常にわかりやすくなったと思います。

そして夏まつり。いろんな意味で暑い夏がスタートして、今思えば「あつ」という間に過ぎた気がします。毎月だった実行委員会が、祭りが近づくと毎週のように夜遅くまで皆で会議をして、一番楽しかったのが打ち上げ！でも次の日には悪魔のようなゴミ拾い。次の日のゴミ拾いはとてもつらかった！

しかし使い物にならない青年部員を助けて頂いた、ボランティアの皆さん本当に助かりました。ありがとうございます。

そして遅くまで協賛金のチェックしてくれた広報委員会のメンバー、財務委員長、ありがとうございます。

そうして夏まつりが終わり、委員長として初めて参加させて頂いた各務原商工会議所青年部主管第24回東海ブロック大会。おもてなしの心で愛を育むをスローガンに非常に盛り上がった大会だったと思います。

あの日、可愛い営業マンから可児商工会議所青年部員達は皆カレーをたくさん買わされていた(自分から進んで買っていたと思いますが)様子が一番思い出に残っています。本年度、初めての委員長で戸惑うことも多かった。実行委員長から怒られたこともあった。

でも、どの事業も「いつまでもこのままでいたいなく」「青年部員っていいな?」と思わせてもらった熱い事業ばかりでした。こんな貴重な経験をさせていた、だいた青年部に感謝したいと思います。

広報委員長としてとても楽しい一年間でした。ありがとうございます。

まちおこし委員会



まちおこし委員長
河辺 広明
(有)溝口新聞店

まちおこし委員会の初年度はゆるキャラを誕生させました。

そして今年度は、前委員長の「想い」を引き継ぎ、念願の着ぐるみ完成させ、夏まつりのイベント会場デビューを果たしました。当初から着ぐるみを作ることを前提に活動を開始したのですが、思い描いていたようには物事は進まず、何度も壁にぶつかりながらようやく完成した着ぐるみでした。それだけに夏祭り当日にお客様とバランまるを通して触れ合った楽しい時間は生涯忘れない感慨深いものでした。

夏祭り以降は地元や市外のイベントに参加し一般の方に少しでも認知していただくことや、他団体との交流を通して活動方法を学ぶことに努めました。

来年度は是非この経験を活かして、バランまるを活用したご当地のPRを、本格的に進めていくことを願います。

『まちおこしは人おこし』私が尊敬する先輩から頂いたアドバイスです。改めてこの一年を振り返りこの言葉の重みと大切さを実感しました。

まちおこしは、如何にたくさんの方の心をつかんで賛同を得るにかかっています。去年より今年、今年より来年と、少しづつ、一步一步で構わないので「人おこし」を継続していくにつけると感じました。

最後にご指導いただいた諸先輩方、協力いただいた委員会のメンバーに心から感謝いたします。ありがとうございます。



研修委員会



研修委員長
梁川 清和
焼楽

まずもって、参加して頂きました部員の方々、また委員会メンバーの皆様には、多大なお時間とご尽力を頂きありがとうございました。

今年度の研修委員長を務めさせて頂き、先ず青年部員各事業所の業績向上に繋がる様な研修にしたいと思いましたが、

そこで、顧客満足度指数日本一の企業に焦点を当て、理念経営の大切さ、企業においての人の大切さを学ぶために今回のTDR(東京ディズニーリゾート)研修プログラムを受講を企画させて頂きました。

今回は、場所が関東ということで一泊となり、また各務原YEGさんとの合同例会ということもあり大きな事業となりました。

一日目は、長時間のバスでの移動となりましたが、振り返ると良い交流の場になったのではないかと感じています。

その後の懇親会も含め、各務原YEGのメンバーと、また可児の部員同士も、より絆を深める事が出来たと思います。

二日目、本来の目的であるディズニーの研修プログラムも、長時間のプログラムでしたが、内容も良く学びが沢山あり、あっという間の3時間でした。

参加して頂いた部員の方々からも、絶賛の声を多く聞くことが出来ました。

今後は、今回の研修を社業や商工会議所活動に活かして頂き、先ずは各事業所を元気に、そして可児を元気に、そして岐阜を、更には日本を元気にできる可児商工会議所青年部になって行きます。



地域交流委員会



地域交流委員長
可児 幹祥
(有)力二看板

本年度、地域交流委員長を務めさせて頂きました可児と申します。

まず今期一年間、会頭始め会長役員並びに部員の方々に、多大なご理解とご尽力を賜りました事を深くお礼申し上げます。

さて、当地域交流委員会は『地域清掃』と『地域活性』の二本柱で活動方針を定めました。これは昨今の諸情勢を踏まえ、我々の貢献意識向上と次世代への模範啓蒙、そして人口減少に伴う地域萎縮化や商業振興低下など、何か活性に繋がる事という視点から地域活性継承の意を踏まえ、今期は婚活交流会を執り行いました。

その中で、清掃活動に至っては、七月と十二月の二回、可児市役所、可児川周辺を暑寒の中皆様にご協力頂き無事終える事が出来ました。夏祭り前の美観と、ミナモ運動との合同実施により、青年部の活動周知や、模範啓蒙活動に、少しでも貢献出来たと感謝しております。

また、地域婚活については、十一月に男女総勢四十二名の参加を頂き、盛大に執り行う事が出来ました。今期が初回の開催という事で、当委員会の中でも手探りの活動となりましたが、当日は参加者の方始め関係者様のご協力により滞りなく実施出来ました事に、重ねてお礼申し上げます。そしてこれを機に、良いご縁のきっかけになれば幸いです。

最後に本年度スローガン『若い時の苦勞は買ってでもせよ』に沿って、この一年間を振り返ってみますと、一言で言えば、尽力がありました。助けられるという実感がありません。事業や家族、または友人の中では得られない達成感など、自身にとつても充実した一年になりました。またこれからも苦勞出来る環境に感謝をしたいと思えます。



青年部員大募集

様々な年代の仲間を作ませんか?

詳しくは可児商工会議所事務局まで
TEL0574-61-0011

編集発行者名	可児商工会議所青年部	URL	http://www.cci.kani.gifu.jp/yeg/
所在地	可児市広見1-5	E-mail	yeg@cci.kani.gifu.jp
電話番号	0574-61-0011	発行日	平成24年3月31日
FAX	0574-63-1856	印刷所	(有) ヤマモト印刷

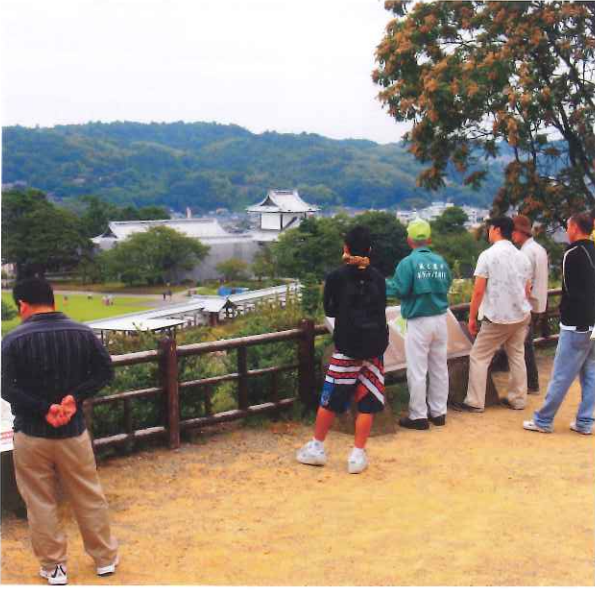
下惠土支部

下惠土支部長
田上哲也 田上建設(株)

下惠土支部長という大役をおおせつかり、例年より緊張感のある青年部活動を送れたかと思えます。8月の魚つかみ大会、9月の支部旅行、10月の下惠土市民運動会、3月の下惠土公民館祭り、毎月の支部例会、さらに本部活動への参加促進も出来、皆様のおかげをもちまして無事終えることができました。支部長でありながら、年齢で言いますとちょうど中間に位置する立場で先輩方々が多く在籍する中、激励やご指導をいただき、また後輩の活動参加への意欲、そして下惠土支部を支える役員として一緒にご尽力いただいた太田副支部長、他支部の皆様、本当にありがとうございます。心より感謝いたします。

また、個人的なことと言いますと、初めての役員を経験させていただき新たに青年部活動への関心が深まり、良くも悪くも皆様との話し合い、考える機会が増え大変意義がある1年でもありました。

至らなかつた点もありましたが、それを踏まえて2年目の支部、本部活動に活かし、そして下惠土をまとめあげていけたらと思います。



広見支部

広見支部長
樋口秀幸 (株)樋口工務店

広見支部では、地元行事への協力として、毎年秋の公民館祭と節分の福市まつりに、参加しています。

まず、秋の公民館祭では、商工会議所青年部らしい活動を、との要望があつたことから、小学生に商売の基礎を体験してもらおう、という趣旨で、小学生によるお菓子ショップの運営を計画しました。小学生同士でグループを組み、グループ毎に、お客さんの立場に立った商品の仕入れから、シヨップの飾り付け、そして当日の販売まで、一環して行うというもので、我々と保護者の方は、ほぼサポート役に徹しました。子どもたちの中には、「セット売り」や「訪問販売」など、こちらが予想してなかつた行動に出て、商才を発揮した子もいました。そんな様子を見た公民館祭運営関係者、教育関係者の方から、多くのお褒めの言葉をいただくことができました。

福市では、毎年、青年部自身で出店を出します。地元の方とのコミュニケーションを取りながら、焼きそばを焼いたり、ポテトを揚げたり、こういう昔ながらのお祭り風景が好きです。寒い時期で、仕入れや片付けなど手間もかかりますが、昔からの良き伝統のお祭りとして、今後とも参加していきたいと思っています。

広見という地域の中で、現役の青年部が主導的な役割をすることは、なかなかありませんが、皆さんの青年部OBの方と連携を取りながら、広見の街を盛り上げて行けたらと思います。



今渡支部

今渡支部長
林 伸彦 (有)マル八電気設備

支部活動を振り返って、

昨年度の三品裕成先輩から引継ぎ、初の支部長役を頂き早一年が過ぎようとしています。今渡支部のまとめ役として、行事業務を無事終えることが出来、部員の皆様には大変お世話になり有難う御座りました。

活動としては、2ヶ月に1回の支部例会、地元の夏祭りであるサマーフェスタ今渡への参加、今渡・川合消防団の操法激励・夜警見舞い、などあり最大イベントとなる支部研修旅行では、11月に大阪難波「よしもと新喜劇」笑いの原点と第して、OBの参加も含み親睦出来た事は良かったと思います。

今後は部員の増員を図り、今一度地元地域の為に何が出来るか考え、支部員共々より一層青年部活動に励んで活きたいと思っています。



土田支部

土田支部長

星野 誠 富士ホイストサービス

土田支部長となつて、何から始めるのか、どうやって進行していくのか、部員視線とは違い新一年生の様な一年間でした。工作上、大勢での話し合い等が少ない為、至らない部分が多々あったと反省の一年間でもありました。

土田支部は一時期、部員数が少なかったのですが、部員皆さんや地元の方々との繋がりにより17人以上という素晴らしい人材に恵まれるまでになりました。

土田支部では二大参加行事と言つてもよい「土田納涼夏まつり」と「土田公民館まつりバザー参加」があります。

土田納涼夏まつりでは、3ヶ月も前からイベント内容決めや協賛のお願い廻り、またまつり当日と、部員皆さん多忙の中、本当に頑張ってくれたと思います。

土田公民館まつりバザーでは、雨が降る中での作業という事で大変だったと思います。そんな中、部員皆さんの日頃の経験が生かされた創意工夫の詰まった素敵なバザーになったと思います。

何方の行事も、昨年同様で大勢の方々に来て頂き、無事にその時間を過ごして頂いた事は、土田支部部員は固より、広見支部さんの御協力、地元の方々の御理解があったからこそ行いう事が出来たと思っております。有難うございました。

土田支部長の任期は、早いものでもう後一年となつてしまいました。次の一年は、可児商工会議所青年部、土田支部、バラんまると発信方法は色々あると思いますが、皆さんの元気を集めた可児の元氣玉を日本中に届けるお手伝いが出ればと思います。



帷子支部

帷子支部長

岡田 朋幸 トーホー家電西可児有

帷子支部では、「木工教室」「帷子花火大会」「西可児イルミネーション」などの地元の為の事業を成功させるために、日々活動しております。

木工教室では、不思議な鉛筆立てを作りました。子供たちの夏の思い出づくりを手助けする楽しい教室ができました。

西可児イルミネーションでは、第7回目を開催する事が出来ました。東日本大震災の影響もあり自粛の声もありましたが、当初からLED電球を使い、節電や地球温暖化への配慮も考え活動していったので、開催できることができました。商工会の枠を超えた地域のイベントになっていますので、今後とも続けていきたいと思っています。

今年度のメインになった事業が、第1回帷子花火大会です。帷子支部9名と異業種交流会11名で開催した事業ですが、お金も人も無い中での様に開催していくのか、初めから壁にぶち当たりながらの事業でした。この町で打上花火を上げたいとの一心でメンバーが奔走した甲斐あつて消防団・地元ボランティア団体・イベント団体など多くの方の協力が得られました。

協賛では地域内外を問わず、多くの方々からご支援を頂き、無事開催することが出来ました。

「やるんだ！」という熱意と諦めない気持ちで突き進むメンバーを見て、本当に心強く思いました。このメンバーに逢えて本当に良かったです。

何分至らない支部長でしたが、皆さんの支えで務めきる事が出来ました。心より感謝します。(本当に2年間有り難うございました！)

新入部員紹介



森田 浩平
今渡支部
(株)バル
1973.9.26生まれ



林 桂治
土田支部
創作居酒屋 えんぎや
1973.4.26生まれ



亀貝 泰洋
土田支部
カメガイ
1973.6.5生まれ



大澤 正治
帷子支部
大澤建築
1974.6.26生まれ



長谷川 弘樹
帷子支部
四屋工業
1982.6.3生まれ

